

'05. 3. 13

54-16  
嘉例川駅生かそう  
隼人でまちづくり公開講座

隼人町のJ.R.嘉例川駅と周辺のまちづくりをテーマにした公開講座が十二日、駅舎横の福良地区公民館であった。有機レストラン経営者や大学教授、鉄道関係者の三人が講師となり、

観光や生涯学習の観点から、嘉例川の魅力を語った。聖徳大学の福留強教授は「会ってみたい土地の人がいて、ユニークな仕掛けがあること」などまちづくりの要点を紹介。



「九州鉄道事業本部」の田中渉氏。嘉例川駅を背景に、観光、生涯学習などさまざまな角度から嘉例川の魅力を紹介した講座

「嘉例川には魅力的な人が多く、駅弁やマップ作りなど熱心に取り組んでいる」と解説した。

J.R.九州鉄道事業本部営業部の田中渉氏は、十三日に開業一周年を迎える観光特急「はやとの風」の秘話を披露。「日帰り旅行に利用したり、地元通勤客が乗ったりと予想外の好反応があった。鹿児島県民にも親しまれていることが分かった」

「多くの社員が嘉例川ファン。百年以上、地元の人を守られていた駅舎の存在は大きい」などと話した。

講座には町内外の六十人が参加。終了後の交流会でも、県内最古の木造駅舎を生かした地域おこしについて熱心に語り合った。